

2025 年度 事業計画

●はじめに

コーダイは今年で創立 17 年目を迎え、更なる飛躍を目指しています。そして、本年は昭和 100 年という歴史的な節目であると同時に、大阪で約半世紀ぶりに開催されている 2 回目の万博の年という特別な一年です。こうした明るい話題の一方で、2025 年は世界的に大きな変化と激動の年となると予想され、まさに「変革の年」と言えるでしょう。

コーダイでは改革活動に取り組んでいますが、当初目指した成果を十分に生み出すには至っていません。不十分な部分を達成させるためには「コーダイを変える」「コーダイが変わる」「そして私たちも変わる」という理念をニューコーダイ活動を全員に十二分に浸透させ、全員が一丸となって活動できる状況を創り出すことだと思っています。やりがいのある活動は、与えられるものではなく、一人ひとりが主体的に取り組む姿勢から生まれるものです。そのため、全員が同じ目標に向かい、ベクトルを合わせて取り組むことが、17 年目を迎えた今のコーダイにはさらに求められています。

本年度は各グループが直面する課題を明確にし、その解決を目指しながら、未来を見据えた具体的な活動方針を策定・実行していきます。特に、各グループ長が自グループの枠を超え、コーダイ全体を見渡した活動に主体的に取り組むことで、組織全体の一体感が高まると同時に変革も進むと考えています。その結果としてスムーズな世代交代が実現できることに繋がると確信しています。

改革活動として取り組んできました「ニューコーダイ創造活動」も 5 年目を迎えました。また、現状を再検証しながら、コーダイの二つの核である「生涯学習」と「社会への参加活動」についても、未来を見据えた運営方針や活動方針を検証しながら進化させる予定です。これにより、より多くの方々が「楽しさ」と「やりがい」を実感できる新しいステージへと踏み出すことを目指します。

昨年度に掲げた「現状を打破し、未来へ挑戦する」という強い意志を引き継ぎつつ、本年度はさらなる改革・改善を目指し、新しいことに挑戦していきます。そして、「スピード」をモットーに活動を進め、全員が一丸となって変革を推進していくことで、コーダイはさらなる飛躍を遂げることができると確信しています。

●事業計画

上記のことを念頭に置きながら、次のような事業計画を実施いたします。

1. 受講生の満足度向上と心地よい居場所創造

コーダイは「学び」を核とし、「仲間づくり」「健康づくり」そして、「社会への参加活動」を実践しながら受講生の満足度を高めるとともに、心地よい居場所の提供活動を継続して推進していきます。そのために、CDの良き相談相手となり、クラス運営をしっかりとサポートしながら、また、受講生・CDの理解と協力を得ながらコーダイの核である「生涯学習校」と「社会への参加活動」の円滑な運営に努めます。

2. 学習環境の改善とコミュニケーションの促進

本年度、教室の分散化は多少緩和されましたが、引き続き快適な学習の場の提供を推進し、教室や設備などハード面の環境改善にも努めます。また、教室分散化で課題となったコミュニケーション不足を補う仕組みを構築し、コーダイ関係者の一体感を強化していきます。

3. 新学習システムの構築

昨年度に引き続き、環境変化の先取りや未来を見据えた魅力的でワクワクする新学習システムの構築活動を継続します。そのため、新たに「新学習システムプロジェクト」を発足させ、スピード感をもって実現化に向けた活動を行います。

4. 科目開発と講師発掘のさらなる強化

生涯学習校の根幹である新規科目の開発、積極的な科目の新陳代謝の促進による科目力アップや魅力的な講師の発掘をさらに推進します。コーダイだから出来る、コーダイだからやらねばならない独自性を活かした講座の開発・開講を推進し、受講生の関心を惹きつけるとともに、コーダイの魅力度をより一層高めながら、ソフト面での快適な学習の場の提供をさらに推進していきます。

5. 社会への参加活動のあらたな施策策定

時代や環境の変化、世代間ギャップを踏まえ、人のお役に立つ活動に対する考え方も変わりつつあります。しかし、この活動はいつの時代になっても非常に重要な活動のひとつだと確信しています。

現状の活動状況を再検証しながら、時代にマッチした新たな活動方針と活動内容を確立させます。そして、コーダイ全体で参加するテーマも打ち出し、意識改革や啓蒙を図りながら全校的に活動し易い環境を創っていきます。また、コーダイの理念の一つである環境問題の取り組みとして、引き続きSDGsにも取り組んでいきます。

6. 人材発掘と人材育成の強化

組織を運営する中で、組織が大きくなればなるほど、また、業界のトップを自他ともに目指せば目指すほど人材の発掘・養成が重要なことは言うまでもありません。CDを含めた人材発掘・養成システムを構築し、人材養成の一環として研修制度を見直し、未来を見据えた人材育成施策を実施しながら豊富な人材確保に努めます。

7. 収益事業や寄附金収集施策の構築

収益事業の企画・方針を確立させ、他グループの協力も得ながら収益事業構築の実現を目指します。また、寄附金についてはコードイ関与者だけでなく、一般市民からの寄附金収集や継続した寄附金収集システム構築に取り組みます。

8. 情報管理とセキュリティの強化

コードイ関与者の情報管理やネットワークセキュリティの強化を図り、コードイの基本資料の管理や応募者動向の分析システム構築を進めていきます。

9. 広報活動の充実

広報活動の重要な要素は迅速でタイムリーな情報発信です。そのためにもSNSを上手く活用し、ユーザーが知りたい・ユーザーに知らせたい価値の高い情報をスピーディに収集・発信できるシステム構築を目指します。また、ホームページの有効活用（期待される内容、知らせるべき内容）を再検証し、コードイ関与者だけでなく、広く一般市民にも魅力的な内容の発信をしながらコードイの認知度アップにも繋げていきます。

10. 総務と財務の強化

縁の下の力持ちではないが、陰の主演として各グループをサポートする重要な活動が求められています。コードイ全般の各種規定の統括・文書管理システムの構築とスムーズな運用を推進し、対外折衝の窓口としての活動を各グループの協力を得ながら進めていきます。

経理面では、インボイス制度の実施や各種値上げによる費用アップの問題など、今後もコードイを取り巻く経費面での対応をスピーディに行います。そして、精度の高い予算作成、予算と実績の差異検証を行いながら財務面での強化を図っていきます。

11. 募集活動の検証と拡充

募集活動の在り方の検証を含め、コードイの魅力を効果的にアピールしながら、昨年に引き続き3,000人以上の応募者確保や多くの新人確保を目指した活動を行います。

12. デジタル化推進活動の加速

デジタル化による効率化・利便性向上・ペーパーレス化などを目指し、新たに独立した組織として「デジタル推進プロジェクト」を発足させ、活動を加速させます。

●学習グループ

<はじめに>

2024年度は教室の分散化で受講生間のコミュニケーション及び科目CDと曜日担当、コードイスタッフとのコミュニケーションが十分に図れない状況でした。

2025年度は分散化は多少緩和されましたが、快適な学習環境の提供ときめ細かな教室運営を行い、受講生の皆様の満足度を高め笑顔で卒業していただくことに努めま

す。

事業計画

1. 人材発掘と人材育成の強化

- ・各曜日をマネジメントする曜日担当者の世代交代を行いました。新任曜日担当を早く一人前に育てるため、サポート体制を敷きバックアップします。
- ・今年度 60 の通年科目の運営 CD は、総数 130 名です。内、新任 CD は 27 名です。新任 CD フォローアップのために 1 学期は、曜日担当とのコミュニケーションを密にし、教室運営の相談やアドバイスをを行います。2 学期前半には新任 CD と 2 年目 CD との懇談会を設け、疑問や課題の解消に繋がります。
- CD 業務遂行にはパソコン活用が必須事項です。5 月以降パソコン研修を開催し、レベルアップを図ります。
- ・曜日 CD 会議を開催し CD 間のコミュニケーションを深め、意見交換し易い環境作りに努め、課題の抽出と解決に努めます。教科研究グループとの協働で分野別の会議を 7 月・9 月・3 月実施、カリキュラム編成の検討や講師情報共有による講義内容の刷新を図ります。
- ・CD は教室運営の要です。次世代を担う人材の発掘のため、CD からの情報を重視して受講生の中から相応しい方を発掘し、次年度 CD 候補として推薦し登用します。また、CD 経験者及び CD 候補者のリストを作成する等、システム構築を行います。

2. 学習環境の改善とコミュニケーションの促進

- 本年度、教室の分散化は多少緩和されましたが引き続き快適な学習の場の提供を推進し、教室や設備などハード面の環境改善にも努めます。
- ・曜日担当チーム内に、各教室の環境整備と講義に使用する機器のチェックを行う「教室・機器管理担当」を配し、CD 業務の迅速な支援と受講生に快適な学習の場の提供に努めます。
 - ・今期は教育会館東館に最新のプロジェクター 3 台を導入し、講義内容を見やすくしました。寺田町教室のパソコン教室にも 1 台配置しました。
 - 今後も意見交換を通して、環境改善のための投資を行います。
 - ・受講生の皆様の意見交換をする場として、「理事長と語る会」を 7 月と 12 月に開催します。コーダイ運営に対する受講生の声を反映させるよう努力します。

3. コーダイ 3 大行事について

- 入学式・健康まつり・コーダイフェスタの 3 大行事について、学習事業チームで受講生アンケートや一口メモを参考に、改善に努めました。昨年から入学式の内容を 1 部・2 部制にし、概ね好評をいただいています。コーダイフェスタも全科目の紹介等、新たな試みを導入して満足度を高めました。今後も改善に努めます。
- ・開校時のオリエンテーションで、コーダイ 3 大行事の意義について動画説明を行い、受講生の皆様に理解を深めていただきます。
 - ・4/7「入学式」は 2 部で、受講生の皆様に楽しんでいただく構成にしました。
 - ・10/7「健康まつり」は、今年度体育館で開催予定です。健康づくりをテーマに体

力測定他、様々なゲームを通して楽しんでもいただくつもりです。

- ・11/19「コーダイフェスタ」は、各科目の展示や演芸を相互に観賞できるよう時間配分を考慮したプログラムを立案します。

4. 新学習システム構築プロジェクト発足

環境変化の先取りや未来を見据えた魅力的な新学習システムの構築活動を継続します。

- ・「新学習システムプロジェクト」を発足しました。スピード感を持って議論を尽くし実現に向けて活動を開始します。

5. 社会への参加活動のあらたな施策策定

コーダイのもう一つの使命である「社会への参加活動」については、カリキュラムの社会参加活動（準備活動）に於いて、オリエンテーション動画を用いてその意義を理解していただきます。

- ・コーダイホームページ上の受講生サイトに各種ボランティア活動団体の紹介を掲載し、検索できるようにします。
- ・ボランティア活動している講座の内容紹介及び「クラブ活動」団体の活動内容をホームページで紹介します。
- ・様々な機関・団体が行っているボランティア活動を広報し、誰でも参加可能な情報提供を行います。（なにわの宮周辺清掃活動 etc）
- ・コーダイとして、大阪マラソン・大阪国際女子マラソンのボランティア募集・参加、ペットボトルのキャップ回収活動、コピー用紙の削減を通して環境問題にも取り組んでいます。今年は受講生へネームプレートケースの再利用促進をお願いします。
- ・SDGs への取り組みとして新たに「古着回収（資源の再利用）」システムを構築して、10月頃にスタートする準備をしていきます

●教科研究グループ

2020年のコロナウイルス発生拡大を境に、コーダイを受講希望される方が減少した状況が続きました。2024年に募集者が若干増加に転じ、2025年度の募集では応募者が大幅に増加し2,759名の応募をいただきました。受講いただける方が増加しているのは開講科目に魅力を感じていただいているのだと思います。今後より一層「魅力ある講座」作りに務める所存です。そのため、本年から講座改革を実践する人材発掘に注力いたします。

2025年度は応募いただいた方の1割を超える方々に受講いただけない状態となりました。応募者が2年連続で増加している状況はコーダイに魅力を感じていただいているのだと思います。受講生の方々がコーダイに興味をお持ちいただいている現状を認識し、コーダイとして受け入れ態勢の検討もすべき状況になっているのだと思います。

1. 新科目提案制度の充実

- ・2025年度の実生募集で募集の1割に当たる6科目の新科目を開講したところ、

6科目合計で募集定員に対して189%の応募をいただきました。しかもリピーターだけで150%を超え、新科目の必要性を痛感しました。

- ・新科目構築のため、受講生・スタッフからなる2年後の開講を目指すオーダーメイド提案制度も3年目となります。受講生の方々から今迄の科目とは違う科目提案を期待しています。
- ・以前より行っている提案制度も継続して提案を募ります。

2. 既存科目の分析

- ・既存科目の魅力の向上のため、科別アンケートを実施しカリキュラムの改善に利用しています。
- ・今年度は既存科目の科目内容について、教科研究のメンバーがCDと一緒に科目について分析し、科目毎に問題点の抽出及び今後の科目の方向付けをしていきます。
- ・科目の内容を受講生(特にリピーター)に知っていただくため、本年度も新科目と充分に認知されていない科目について冊子を作り受講生に配ります。

3. 人材発掘

- ・「魅力ある科目」を作るには科目構築を担っていただく方が必要です。
特に、担当科目についての興味と知識のある方が必要です。
- ・教科研究に求められるのは科目に興味を持ちお手伝いいただける方を見つけ出す事です。
- ・本年度より人材発掘も教科研究の役割とします。

4. 開講科目決定時期

- ・2026年開講科目は2025年3月末迄に決定いたします。
今後このスケジュールを続けます
- ・募集一次締切り後に休講検討候補科目を該当CDに伝えます。
- ・講座開校時にはCDに授業に専念いただけるようにします。

5. 社会貢献講座について

- ・コーダイ開校の理念の一つである社会貢献(社会参加)を目指す科目について本来の開設目的に立ち返り、継続して社会貢献を勧める講座内容とするよう努めます。
- ・従来社会貢献科目は通年講座のみでしたが、今後内容によっては短期講座でも開講いたします。

6. 市民公開講座

- ・本年も受講生の方々に対する授業以外の学習の場として、また、コーダイのピアールとして市民公開講座を行います。
- ・一般の方にコーダイを知っていただくため、本年も大阪府に共催の申請を行いました。講座は分野の違うテーマで6回開催を予定しています。

7. その他

- ・コーダイ以外の高齢者向け学習組織との意見交換の場である関西シニア、大

- 阪シニア等は情報交換と内省のために継続して参加します。
- ・学習環境の向上を目指して今後も継続して教室探しを行います。

●事業グループ

事業推進・子ども事業・ファンド・校友会が共通認識の基に一体となった活動を目指していきます。

<事業推進チーム>

受講生の皆さんに、楽しく参加いただける・これからの毎日に少しでも役に立つ、ことを目指した催しを考えていきます。

高齢者への特殊詐欺対策講習会及び救命講習会の開催を大阪府警・大阪東警察の協力の下に開催の準備をいたします。

例年実施しています大阪再発見ツアーもより充実した内容で企画します。

今年1月のニューイヤーコンサートは皆さんに好評でした。来年1月開催に向け準備を早めていきます。

コーダイが提携する棚田契約に基づく新米の子ども食堂等への配布は、多くの皆さんに喜んでいただいています。社会貢献活動として今年度も実施します。

<子ども事業チーム>

子ども科学フェスティバル・子どもプラザ・伝統文化親子教室等、毎年実施しています行事は今年度も既に開催場所も決定し、活動を開始しています。

コーダイのかけがえのない事業であることを認識し、この伝統を守っていくための施策の立案が課題となります。

<ファンドチーム>

寄附金活動に当たっての再構築課題を検討していきます。寄附をお願いする対象・お願いする方法・時期等について幅広く意見を聴取するなどの策を講じます。

寄附金活用に際しての事前申請の時期及び方法とその決定機関や審査方法を確立することを重要課題とします。

<校友会連絡チーム>

組織の拡大と組織の見直しを今期の重点目標とします。

コーダイと一体となった活動の具体策を話し合い、提案していきます。

●情報管理グループ

<情報管理チーム>

1. 募集データの集計システムを通して新受講生へ合格通知の発送・入金管理・入学案内などの発送・受講生名簿・名札・受講生台帳など入学準備の体制づくりを行います。
2. 受講生・講師・スタッフのデータベース化を推進し、個人情報の管理運営に努めます。

3. ホームページでは募集要項、応募状況をリアルタイムに掲載発信し、申込フォームからの申込を 2,000 件以上をめざします。
4. 受講生台帳の集計管理と出席簿の学期単位のデジタル・データベース化、並びに修了証書の発行を行います。
5. 事務所内ネットワークシステムとパソコンなどの機器の保守管理を行います。
6. パソコン・スマホのスキルアップ講座を実施します。
7. オンラインシステムの理解度を高めることを目的に他グループと協働し、スキルアップを図ります。
8. SNS（Facebook・X・Line など）の会員登録数の増加を図ります。

●広報グループ

広報グループはホームページを有効活用し、コーダイの関与者だけではなく広く一般市民にも魅力的な内容を発信しながら、コーダイの認知度を高め、愛称コーダイを浸透させるように努めます。SNS に関しては、特に Facebook・Instagram・X の活用を進めます。

<HP・SNS 活用>

1. コーダイを認知してもらうための最大ツールである HP を最大限に活用します。
期待される内容、知らせるべき内容を再検証し、HP の更新を頻繁にして訪問者数の増加を目指します。受講生のための「受講生サイト」を活発に利用し、全受講生との情報共有を図ります。また、コーダイ関与者だけでなく、広く一般市民にも魅力的な内容を発信しコーダイの認知度アップに繋がります。
2. SNS に関しては、コーダイの公式 LINE（ラインカフェ）がコーダイからの役に立つ情報や新着情報をいち早く伝えるツールとして浸透してきていますが、コーダイ生にとっては必須のツールとなるように、全受講生の登録を目指します。
(2024 年 3 月時点 2,157 名→2025 年 3 月時点 2,512 名)
3. Facebook・X・Instagram それぞれを使いこなせるように研修プログラムを立案し、登録者数を増やします。

<広報ツール>

1. 広報誌「れいんぼー」「学校案内」「募集案内」等、紙媒体に関しては、読者が必要としている情報が提供されているのかを考察し、コーダイの認知度アップに繋がるように紙面のリニューアルを図ります。また、様々な機会を捉えて、配布するようにします。
2. コーダイの認知度アップのために制作したプロモーションビデオを入学式・市民公開講座・講座説明会・フェスタ等々フルに活用し、新人獲得に繋がります。

<パブリシティ>

1. 昨年は募集時期に合わせて読売新聞でシリーズ広告を出し、新人獲得に効果がみられたように、今年も様々なメディアを使った広告を検討します。

また、定期的にマスコミ対象のメルマガを配信し、コーダイの行事や募集案内等の告知をして、コーダイへの関心度を高めます。

2. メディアとの関わりを深めるための広報活動システムの構築を検討します。

<SDG s の推進>

1. 環境問題の取り組みの一環として印刷物、コピーの削減に取り組みます。

印刷申込の流れを確立し、過剰な部数の印刷をなくします。

●総務グループ

新事務所移転時の教訓を生かし、スタッフ・CD の活動拠点としての事務所機能の充実を図ります。

予算と実績の差異を常に検証し、各グループとの連携で適正な経費管理に努めます。次年度予算作成業務を担う準備を始めます。

経費削減を念頭に、備品管理をはじめ事務用品等の消耗品の発注から管理までの確に行います。そのため、常時整理と管理の徹底を図り大量注文についての責任を明確にします。

懸案である文書管理・諸規程（ルール・マニュアル）の整備を着実に進めます。

<経理チーム>

正確な経費処理を実践し、予算と実績の差異検証をグループ毎に行うように試行します。

経理マニュアルの見直しに着手します。合わせて現金事故のリスク軽減を図るため、現金での支出ルールを見直します。

「デジタル推進プロジェクト」の協力を得ながら、経理事務の正確化・効率化を模索していきます。

<事務局チーム>

1. 新事務所への移転と事務所業務の効率化

事務所移転完了にあわせてスリムになった文書について、制定された「文書管理規程」にもとづく管理の徹底と備品台帳の整備をすすめ、適切な管理と活用を図ります。

また、必要に応じ事務所レイアウトなどを見直し、情報の共有化等をとおして事務所業務の効率化を目指します。

2. 2026 年度の教室確保と適切な運営

昨年度と異なり、教室の分散化は縮小しましたが、引き続き教室の確保を図り、受講生に対し適切な運営を目指します。

3. 組織運営全般に関する諸規程の整備・作成と運用

昨年度制定した文書管理や個人情報に関する規程の適正な運用を実行します。

さらに組織運営に必要とされる諸規程の見直し整備と作成を行い、運用を図ります。

4. 災害対応

昨年度の教室分散にともない一部教室でしか実施できなかった避難訓練を数多く実施出来るよう教室提供先の協力を得ます。

緊急連絡網の整備・災害発生時の初期対応・災害に備える事前行動などの防災意識を高める活動を検討します。

●デジタル推進プロジェクト

本プロジェクトでは、業務の効率化・利便性向上・ペーパーレス化を推進し、デジタル化による定型業務の改善を目指します。具体的な目標は以下の通りです。

目標

- ・事務処理の効率化：経費精算や教室予約などの業務を簡素化
- ・情報共有の向上：ペーパーレス化による情報の一元管理と検索性の向上
- ・業務引継ぎの円滑化：デジタル記録の活用によるスムーズな引継ぎ
- ・環境への配慮：紙資源の削減によるエコ活動の推進

現状分析

現在の業務内容を分析し、デジタル化による改善点を洗い出した上で、最適なソリューションを提案します。主な分析内容は以下の通りです。

- ・業務内容の把握：各部門へのヒアリングを通じて、デジタル化の対象業務を抽出
- ・業務フローの可視化：無駄や重複作業を特定し、改善策を策定
- ・デジタルツールの整備：適切なソフトウェアやインフラを選定し、導入計画を策定

ソリューションの提供

デジタル化を定着させ、円滑に運用できるよう、以下の施策を実施します。

- ・マニュアル作成と研修：新システムの活用をスムーズに進めるための教育
- ・テスト運用と改善：実運用を通じて情報を収集し、システムを最適化

期待される成果

本プロジェクトの推進により、以下の成果が期待されます。

- ・業務効率の向上：生産性向上と作業時間の短縮
- ・ナレッジマネジメントの強化：情報共有の円滑化
- ・コスト削減と環境負荷の軽減：ペーパーレス化による経費削減とエコ活動の推進

●募集委員会

受講確定者 2,300 名台以上の確実な達成に向けた活動具体策を考えます。

コーダイが初めての方の受講確定数の増加が大きな目標となります。

2026 年度実施講座の内容とコーダイの魅力を知っていただくための具体的施策を早期に確立し、実行に移すことを基本目標とします。

受講生や昨年度応募いただいた皆さん及びコーダイスタッフの方々からの募集に関する改善提案や苦情を踏まえ、早急に基本的な考え方をまとめます。

具体的には「募集開始から最終確定までの日程」「講座説明会の場所と実施日」「講座説明会での対応不十分な点の検証」「定員オーバーの際の抽選と選外者への通知の再検証」等を経たうえで募集を開始します。

現受講生の口コミ・募集案内冊子の配布・自治体の広報・コーダイホームページ等の効果的な連携による活動を目指します。

多くの皆様に、コーダイでの楽しい 1 年間を過ごしていただけるよう全力で取り組んでいきます。